

平成19年5月7日

「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、春の全国交通安全運動の実施にあわせ、踏切事故の防止を図るため5月11日から「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の駅や踏切で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」「車が動かなくなった時には発炎筒や非常ボタン等で列車を止める」ことなどをPRして参ります。

また、これからの時期は、子供達の外遊びの機会が多くなることから、線路内立ち入りや置き石等の禁止の呼びかけを学校や幼稚園、地域の方々と協力して行います。



駅コンコースでの啓発

幼稚園を訪問しての啓発

各地域の踏切での啓発

実施期間

平成19年5月11日(金)から5月20日(日)までの10日間

実施内容

- ・ 踏切、駅頭でのパンフ、ポケットティッシュの配布による協力要請
- ・ 小中学校・幼稚園等を訪問しポスター・チラシ等の配布による協力要請
- ・ 主要駅・列車内での業務用放送による協力要請
- ・ 特急列車の客室内情報表示装置による協力要請
- ・ 関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問し啓発活動の協力要請
- ・ テレビ・ラジオ放送による踏切事故防止の呼びかけ

<平成18年度の踏切事故>

踏切事故の発生件数は9件で、前年度より2件減少しましたが、3月1日石北線第四基線道路踏切で、大型トレーラとの衝突により列車が脱線し、負傷者51名という大きな踏切事故が発生しました。

この9件の踏切事故のうち5件が、踏切を無理に通行しようとしたことが原因で発生しています。また、遮断ボールの折損は、593件発生しました。これは警報機が鳴っている踏切を無理に通行したものと考えられます。